

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科の特性を活かして地域のニーズやグローバル化する社会の要請に応える教育活動を展開し、地域や次代を支えリードする人材を育成する。

1. 多様な学びを通して能力・適性を伸ばし、自らの将来を展望し見通すことができる力を育む。
2. 急速に変化する社会の中でも、広い視野を持ち、自らの社会での役割を見出し、活躍できる「自主、自律、創造」の力を育む。
3. 本校で身につけた知識や経験に自信と誇りを持ち、様々な困難に立ち向かっていくとともに、他者を理解し、協働できる寛容な力を育む。
4. 学校、地域における教育資源と社会資源を相互活用しながら交流を推進し、一層地域に信頼され愛される学校をめざす。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

- (1) 「わかる授業、学力がつく授業、進路に結果をだす授業」をめざした取り組みを進める。
- ア 総合学科の特性を活かした教育課程の編成を行うとともに、基礎基本の学力の定着をめざして授業改善に取り組む。
  - イ ビオトープなどの校内教育資源とともに、福祉施設や近隣の学校園など校外の教育資源を活用し、「感性が磨かれる授業、実社会との関わりを実感するような授業」をめざす。
  - ウ 従来の授業実践と ICT 機器を活用した授業を融合し、経験年数の浅い教員とベテラン教員との能力をうまく組み合わせ、技術や知識の共有を図る。
  - エ 増加する傾向にある進学希望者の希望実現のための学習支援と、自習室の充実、学習環境の整備に努める。
  - オ “量”より“質”による希望進路の実現を図り、生徒が進路先に納得し、満足した「進路希望実現率 100%」をめざす。
- \*学校教育自己診断（生徒）における「わかりやすい授業」の肯定率を、H31には65%以上をめざす。(H28 50.3%)  
\*H29には進路未定率2%以下を達成し、H31以降も限りなく0%をめざす。(H28 3%)

2 キャリア教育、人権教育の推進

- (1) キャリア教育、人権教育を系統的、積極的に推進し、単なる卒業後の進路を決めるのではなく、将来、職業人・社会人としてよりよく自己を活かして生きていくための基盤となる能力や態度を育成する。
- ア 「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」、LHR等を活用して、キャリア教育、人権教育を行う。
  - イ 生徒の学習歴の多様化を踏まえ、小中学校でのキャリア教育、人権教育の状況を把握し、小中学校と連携した取り組みを一層推進する。
  - ウ 自立支援コース生徒の進路実現に向け、校内サポートを充実させるとともに関係諸機関と連携し就労に向けた取り組みを多面的に行う。
- (2) 自ら規範意識を高めるとともに、他者を思いやりながら学校生活を送る態度を育てる。
- ア 挨拶、礼儀、身だしなみ等、公共の場での規範を日々の教育活動の中ではぐくむ。
  - イ 時間を守り、落ち着いて学習活動に取り組めるよう、基本的な生活習慣を確立させる。
- \*H31までに遅刻件数30%減をめざす (H28年 遅刻件数約6700件)

3 「自主・自律・創造」力と「協調・協働」力の育成

- (1) 多様な学びを通して身に付けた能力を最大限に発揮し、自律的自発的に活動し、自らの才能を開花させる環境を整える。
- ア 学校行事や部活動を通して得られる連帯感と、集団活動によって味わえる成就感・達成感を体験させる。
  - イ 学校生活における成功体験を味わう機会を提供し、長所をさらに伸ばし、自己の課題を見つめ解決する姿勢をはぐくむ。
  - ウ 生徒同士がそれぞれの違いを理解しようと努め、意思疎通を図ることによって互いを尊重し、協働できる姿勢をはぐくむ。
  - エ 国際理解教育を進めるため、海外の生徒と交流する機会を設ける。
  - オ 生じた事案を教育相談係や年次連絡会で集約し、本人の希望を尊重しながら情報の共有化を図り学校全体で支えていく体制を充実させる。
- (2) 他校種や地域との連携を深めるとともに学校情報の積極的な発信を行う。
- ア 近隣の小中学校や施設との連携を強化し、地域に一層信頼される学校をめざす。
  - イ 学校ホームページや校長ブログを活用し、学校情報発信を積極的に行う。
- \*部活動加入率を、H31には55%以上をめざす。(H28 37%)  
\*学校教育自己診断（生徒）における「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の肯定率を、H31には70%以上をめざす。(H28 57%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p><b>【学習指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT 機器の活用等をすすめて、授業改善を学校全体で取り組んだ。その結果、自己診断（生徒）の「プロジェクターなどを使って説明」の肯定率は、年々増加し、90%を超えた。自己診断（生徒）の「わかりやすい授業」の肯定率は58%（約8ポイント増）。「主体的・協働的な深い学び」の推進と教材の精選につながる研修の計画を年度当初から組み入れる必要がある。</li> </ul> <p><b>【キャリア教育・人権教育等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己診断（生徒）の「将来の進路や生き方について考える機会」の肯定率が62%から76%と大幅に上がった。キャリア教育の意義を踏まえ、「産業社会と人間」・「総合的な学習の時間」・LHR等を活用し、全教員が高い意識を持って取り組んだ成果と考える。また、「3年間を見据えた人権教育」に取り組んだ成果として、自己診断（生徒）の「人権の大切さについて学ぶ」の肯定率が72%から76%と昨年度に引き続きあがっている。</li> </ul> <p><b>【自主・自立・創造力、協働力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒や保護者への丁寧な対応を進めた結果、自己診断（生徒）の「悩みや相談に親身になってくれる先生」の肯定率は、57%から61%に上がり、特に2、3年次生は高い肯定率（65%）を示している。</li> <li>・ 保健部が中心になって相談室を開設しているが、利用する生徒が今</li> </ul>	<p>第1回（6/23）</p> <p>○平成 29 年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT は中学にはないので、貝高の生徒の学習環境は良い。</li> <li>・ 遅刻が多すぎる。減らす対策を検討してほしい。</li> <li>・ 世間の求人状況は上向きようだが、高校ではその実感はあるか。</li> <li>・ {広報活動について} 中学でも生徒へのオープンスクール参加の呼びかけを強化している。受験しようと思っている学校へは説明会に行くように指導している。</li> </ul> <p>第2回（10/19）</p> <p>○キャリア教育、人権教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (LGBT研修について) 今後、性のマイノリティへの理解をさらに普及させるためにも非常に有意義な研修であると思う。</li> <li>・ 現状、行事においても勉強においても主体的に取り組んでいる貝塚生の良さを伸ばすことで次第に改善に向かうと思う。</li> <li>・ (韓国の高校訪問を受けて) 国際社会が進むなかで、このような交流が親日関係を築いていく中で非常に重要な意味を持つと思う。</li> </ul> <p>○自立支援コースについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立支援生へのアクティブ・ラーニングはどうしているのか。</li> <li>・ 今後、障がい者スポーツを通しての交流会も多く取り入れることで活動の幅が広がると思う。</li> </ul> <p>第3回（2/1）</p>

<p>年度も伸び悩んだ。さらなる利用者増への工夫が課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭、文化祭、修学旅行のアンケート結果はすべて「楽しかった」が90%代後半となった。</li> <li>・「授業で、グループで活動することがよくある」が67%、「授業で自分の考えたりまとめたりすることがよくある」が60%と、昨年度より数値が上がり、仲間との協働的な学びが進んでいると思われる。</li> </ul>	<p>○学校教育自己診断について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己診断（生徒）「先生の指導に納得できる」49%に対して、厳しい指導は必要で、100%の数字は難しいと考えるが、49%は低いと感じる。</li> <li>・全体として向上した自己診断項目が非常に多い。教員の連携・情熱によるものではないか。「将来について考える機会がある」76%「生徒会活動に取り組む」60%と、この両項目の数値が大幅に高くなったことが非常に良い。</li> <li>・生活指導関係では、粘り強い指導の継続を望む。</li> <li>・土日の出勤等、教員の負担について考える必要がある。</li> </ul>
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>ア 総合学科の特性を活かした教育課程の編成を行うとともに、基礎基本の学力の定着をめざして授業改善に取り組む。</p> <p>イ ビオトープなどの校内教育資源とともに、福祉施設や近隣の学校園など校外の教育資源を活用する。</p> <p>ウ 従来の授業実践とICT機器を活用した授業を融合し、経験年数の浅い教員とベテラン教員との能力をうまく組み合わせ、技術や知識の共有を図る。</p> <p>エ 進学希望者の希望実現のための学習支援と、自習室の充実、学習環境の整備。</p> <p>オ 生徒が進路先に納得し、満足した「進路希望実現率100%」をめざす。</p>	<p>ア・授業力向上チームを創設し、授業アンケート、学校教育自己診断の結果を踏まえ、教材の精選・工夫を行う。</p> <p>・校内授業公開週間を年2回設け、学校全体の授業力の向上をめざす。</p> <p>イ・近隣幼稚園、小・中学校、施設との交流を一層活発に行う。</p> <p>ウ・ICT機器の活用方法をマニュアル化し、ノウハウを広め、効果的な活用を図る。</p> <p>エ・自習室の開室期間の延長と管理・監督教員を当番化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同一の進路目標を持つ生徒同士で高めあう集団づくりに取り組み、妥協しない進路先を実現する。</li> <li>・進路HR、進学説明会等を通じて、多様化する入試制度を生徒にも保護者にも情報提供する。</li> </ul> <p>オ・自分の能力に応じた級の漢字検定、英語検定を受けるよう、奨励する。</p>	<p>ア・自己診断（生徒）の「わかりやすい授業」50%を55%以上に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業週間（6月）における授業交流講座を25講座以上に。</li> <li>・自己診断（教職員）の「学習指導の方法等について他教科の担当者と話し合う機会がある」50%を55%に。</li> </ul> <p>イ・地元の小中学校と連携し、授業見学や合同研修会を3回以上実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座学の出前授業を1回実施。</li> </ul> <p>ウ・ICTを活用した授業力向上研修を3回実施、内容の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己診断（生徒）の「教え方に工夫をしている先生が多い」64%を70%以上に。</li> </ul> <p>エ・自習室利用生徒数を述べ人数500人に、利用満足度80%に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年次の保護者対象の進学説明会を実施</li> </ul> <p>オ・就職一次合格率、二次以降合格率ともに80%以上を堅持。 (H28一次85.7%、決定率95.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路未定率を2%に。(H28 3%)</li> <li>・漢字検定受験者数180名以上受験。合格率50%以上(H28 149名受験)</li> <li>・英語検定受験者数100名以上受験。合格率50%以上(H28 84名受験)</li> </ul>	<p>ア・自己診断（生徒）の「わかりやすい授業」55%達成(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業週間（6月）における授業交流講座25講座。(○)</li> <li>・自己診断（教職員）の「学習指導・・・他教科の担当者と話し合う機会がある」60%。(○)</li> </ul> <p>イ・地元の小中学校と連携し、授業見学や合同研修会を3回実施。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座学の出前授業を1回実施。</li> </ul> <p>ウ・ICTを活用した授業力向上研修を5回実施。教育センターで事例発表(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己診断（生徒）の「教え方に工夫をしている先生が多い」70%達成。(○)</li> </ul> <p>エ・自習室利用生徒数を述べ人数110人(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年次の保護者対象の進学説明会を実施</li> </ul> <p>オ・就職一次合格率、二次以降合格率ともに80%を大幅に超える。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路未定率2%未満。(H28 3%)(◎)</li> <li>・漢字検定受験者数134名受験。合格率32%(H28 149名受験)(△)</li> <li>・英語検定受験者数96名受験。合格率55%(○)</li> </ul>

## 府立貝塚高等学校

<p>2 キャリア教育、 人権教育の 推進</p>	<p>(1) キャリア教育、人権教育を系統的、積極的に推進し、将来、職業人・社会人としてよりよく自己を活かして生きていくための基盤となる能力や態度を育成する。</p> <p>ア 「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」、LHR等を活用して、キャリア教育、人権教育を行う。</p> <p>イ 生徒の学習歴の多様化を踏まえ、小中学校での状況を把握し、小中学校と連携した取組みを一層推進する。</p> <p>ウ 自立支援コース生徒の校内サポートを充実させるとともに関係諸機関と連携し就労に向けた取組みを多面的に行う。</p> <p>(2) 自ら規範意識を高めるとともに、他者を思いやりながら学校生活を送る態度を育てる。</p> <p>ア 公共の場での規範を日々の教育活動の中ではなくむ。</p> <p>イ 時間を守り、落ち着いて学習活動に取り組めるよう、基本的な生活習慣を確立させる。</p>	<p>ア・ルーブリック評価を用い、生徒に課題達成目標を明確に示し、プレゼン講座を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学希望生徒の増加を踏まえ、自習室等、自学自習できる学習環境の整備に努める。</li> <li>・初任者にはHRや「産社」「総学」の時間に担任と一緒に入り、指導内容を把握する。</li> </ul> <p>イ・小中学校と連携し、生徒・教職員の交流を積極的にすすめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を抱えた生徒の情報共有を迅速にする。</li> <li>・教育相談室開室の周知と利用の促進する。</li> </ul> <p>ウ・自立支援コース生徒の進路実現に向け、本人・保護者の意向を踏まえ、関係諸機関とも連携し就労に向けた取組を多面的に行う。</p> <p>(2)・年次団会議等で生徒の情報交換を密にし、常に情報共有に努める。</p> <p>ア・「身だしなみキャンペーン」の時期だけでなく、常に恥ずかしくない身だしなみを心がけるよう指導する。</p> <p>→学校全体で統一し、一貫した粘り強い指導。</p> <p>イ・生徒指導部中心に遅刻件数を大幅に減らす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・件数の多い生徒には生活習慣全般の見直しを保護者の協力のもとに指導する。</li> <li>・遅刻を減らすキャンペーンや指導工夫を考える。(例：遅刻撲滅キャンペーン、遅刻ゼロ週間、遅刻ゼロ表彰、など)</li> </ul>	<p>ア・自己診断(生徒)「自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」54%を60%以上に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニングの研究発表を校内外で3回以上実施する。(H28 2回)</li> </ul> <p>イ・小中学校とのキャリア教育・人権教育に関する交流を4回以上実施。(H28 4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回の生徒情報交換会を実施(教頭、年次主任、首席、養護教諭、人推長)</li> <li>・職員人権研修年5回を堅持。</li> <li>・教育相談研修を1回実施。</li> </ul> <p>ウ・自立支援コース生の希望進路の実現率100%を堅持。</p> <p>(2)ア・自己診断(生徒)「先生の指導に納得できる」46%を50%に。</p> <p>イ・遅刻件数をH31までに3割減を目標にする。(H28 約6700件)</p>	<p>ア・自己診断(生徒)「自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」60%以上達成。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニングの研究発表を校内で2回、教育センターで1回実施、教科ごとに1月実施。(◎)</li> </ul> <p>イ・小中学校とのキャリア教育・人権教育に関する交流を4回実施。(進路保障懇談、LGBT研修等)(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回の生徒情報交換会を実施。(○)</li> <li>・職員人権研修年5回実施。(○)</li> <li>・教育相談研修を1回実施。(○)</li> </ul> <p>ウ・自立支援コース生の希望進路の実現率100%の予定。(○)</p> <p>(2)ア・自己診断(生徒)「先生の指導に納得できる」49%。(△)</p> <p>イ・遅刻件数H29 12月現在約4700件(△)</p>
---------------------------------------	--	--	---	--

## 府立貝塚高等学校

<p>3 「自主・自律・創造」力と「協調・協働」力の育成</p>	<p>(1) 多様な学びを通して身に付けた能力を最大限に発揮し、自律的自発的に活動し、自らの才能を開花させる環境を整える。</p> <p>ア 学校行事や部活動を通して得られる連帯感と、集団活動によって味わえる成就感・達成感を経験させる。</p> <p>イ 学校生活における成功体験を味わう機会を提供し、長所をさらに伸ばし、自己の課題を見つめ解決する姿勢をはぐくむ。</p> <p>ウ 生徒同士がそれぞれの違いを理解しようと努め、意思疎通を図ることによって互いを尊重し、協働できる姿勢をはぐくむ。</p> <p>エ 国際理解教育を進めるため、海外の生徒と交流する機会を設ける。</p> <p>オ 課題や悩みを抱えた生徒を学校全体で支えていく体制を充実させる。</p> <p>(2) 他校種や地域との連携を深めるとともに学校情報の積極的な発信を行う。</p> <p>ア 近隣の小中学校や施設との連携を強化し、地域に一層信頼される学校をめざす。</p> <p>イ 学校ホームページや校長ブログを活用し、学校情報発信を積極的に行う。</p>	<p>(1)ア・行事を通して多くの感動を体験させ、自己肯定感を高める取組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自主的に活動できる場として利用できるよう、特別教室や中庭の環境整備を図る。</li> </ul> <p>イ・体育祭、文化祭等の行事に工夫を凝らし、他者を思いやり、より良い取組みをめざすクラス仲間づくりを進める。</p> <p>ウ・授業において、探究活動や発表活動を積極的に行い、自主的活動を促進し、互いに発表しあうことでコミュニケーション能力を高める。</p> <p>エ 海外の生徒の授業参加や生徒との交流をする行事を行う。</p> <p>オ・生起した事案を教育相談係や年次連絡会で集約し、本人の希望を尊重しながら情報の共有化を図り、教員同士もお互いを支えあうような環境をつくる。</p> <p>(2)ア 地域の人を招いた農産物販売や学習成果発表会、クラブ活動紹介など、学校の取組みを外部の人に発表する機会を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の主体的な意見を取り入れて、部活動の活性化、新入生の加入率を上げる取組を行う。</li> </ul> <p>イ・Webページで、“生徒の活動の見える化”に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がかかわることにより、広報活動の活性化を図る。</li> </ul>	<p>(1)ア・行事満足度90%以上を堅持。(H28 90%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>展開教室のICT環境整備 1教室増。</li> </ul> <p>イ・自己診断(生徒)「行事が工夫されている」67%を70%以上に。</p> <p>ウ・総合学科アンケート「コミュニケーション能力が身に付いた」67%を70%以上に。</p> <p>エ 海外の生徒の学校訪問を企画し、生徒との交流行事を行う。</p> <p>オ・学校教育自己診断(生徒)における「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の肯定率を、H31には65%以上をめざす。(H28 57%)</p> <p>(2)ア・部活動の加入率1年次37%をH31には50%以上、H29は45%以上に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高の部活動交流の実施クラブ数を堅持。(H28 7部)</li> <li>新入生クラブ紹介を入学前の3月に実施し入学後も「クラブ相談会」を実施し、年度途中も入部しやすい環境を整える。</li> </ul> <p>イ・“写真でみる貝塚高校”は月2回以上、校長ブログは週2回以上更新。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会を4回→5回に。</li> <li>生徒が作成した広報活動の成果物。学校説明会での生徒の参加。</li> </ul>	<p>(1)ア・文化祭、体育祭、修学旅行の満足度すべて90%以上。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>展開教室のICT環境整備 1教室追加で設置。会議用の部屋に新プロジェクター設置。(○)</li> </ul> <p>イ・自己診断(生徒)「行事が工夫されている」74%。(○)</p> <p>ウ・総合学科アンケート「コミュニケーション能力が身に付いた」74%。(○)</p> <p>エ 韓国の生徒の学校訪問交流行事2回実施。(○)</p> <p>オ・学校教育自己診断(生徒)における「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」61%。(H28 57%) (○)</p> <p>(2)ア・部活動の加入率1年次40%弱。昨年と変わらず。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高の部活動交流の実施クラブ数を堅持。(H28 7部) (○)</li> <li>新入生クラブ紹介を入学前の3月に実施し入学後も「クラブ相談会」を2月に実施。(○)</li> </ul> <p>イ・“写真でみる貝塚高校”は平均月2回、校長ブログは平均週2回更新。昨年度より少々減。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会をオープンスクールも含めて5回実施。教員の負担軽減も含めて精選も検討。(○)</li> <li>生徒が作成したポスターや、保健研究発表会での生徒の発表、オープンスクールでの生徒のスタッフ参加など。(○)</li> </ul>
----------------------------------	--	---	--	---